

# 白山の火山活動解説資料（平成 29 年 7 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## 活動概況

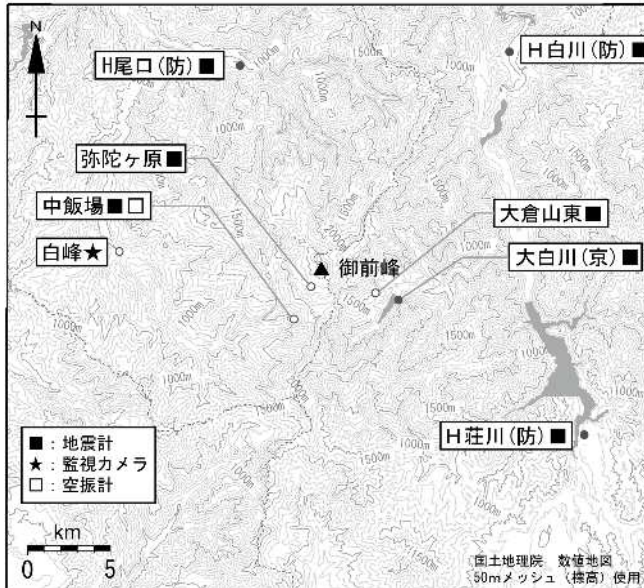
### ・噴気など表面現象の状況（図 2）

白峰監視カメラ（白山山頂の西約 12km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

### ・地震や微動の発生状況（図 3～4）

13 日 08 時 27 分に、山頂付近を震源とするマグニチュード<sup>1)</sup>2.7 の地震が発生しました。しかし、この地震の前後で地震活動の活発化等はなく低調に経過しており、火山活動に変化はみられませんでした。火山性微動は観測されていません。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を表します。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(防)：防災科学技術研究所、(京)：京都大学防災研究所

図 1 白山 観測点配置図



図 2 白山 山頂部の状況  
(7月7日 白峰監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) で閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 8 月分）は平成 29 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 26 情使、第 578 号)。

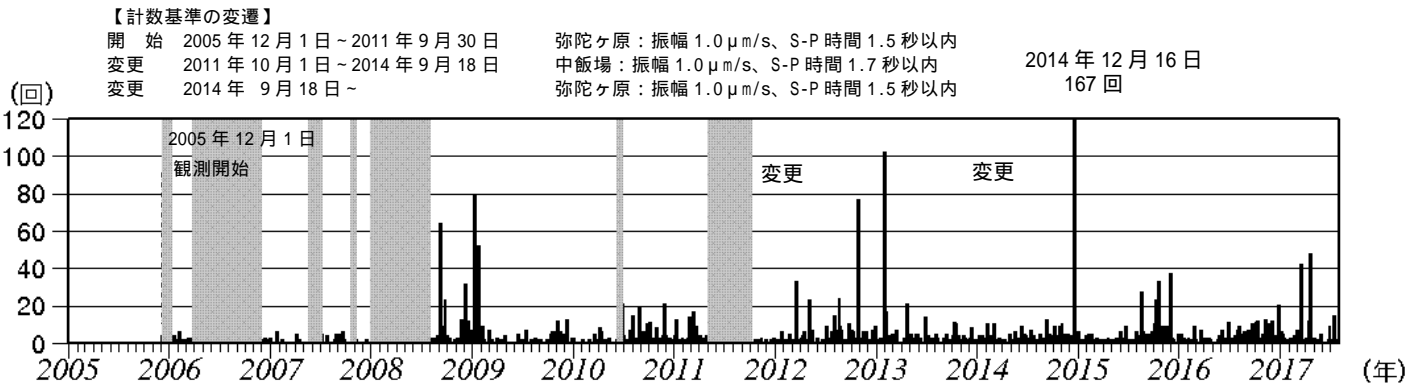


図3 白山 日別地震回数(2005年12月1日~2017年7月31日)  
・図の灰色部分は機器障害による欠測期間

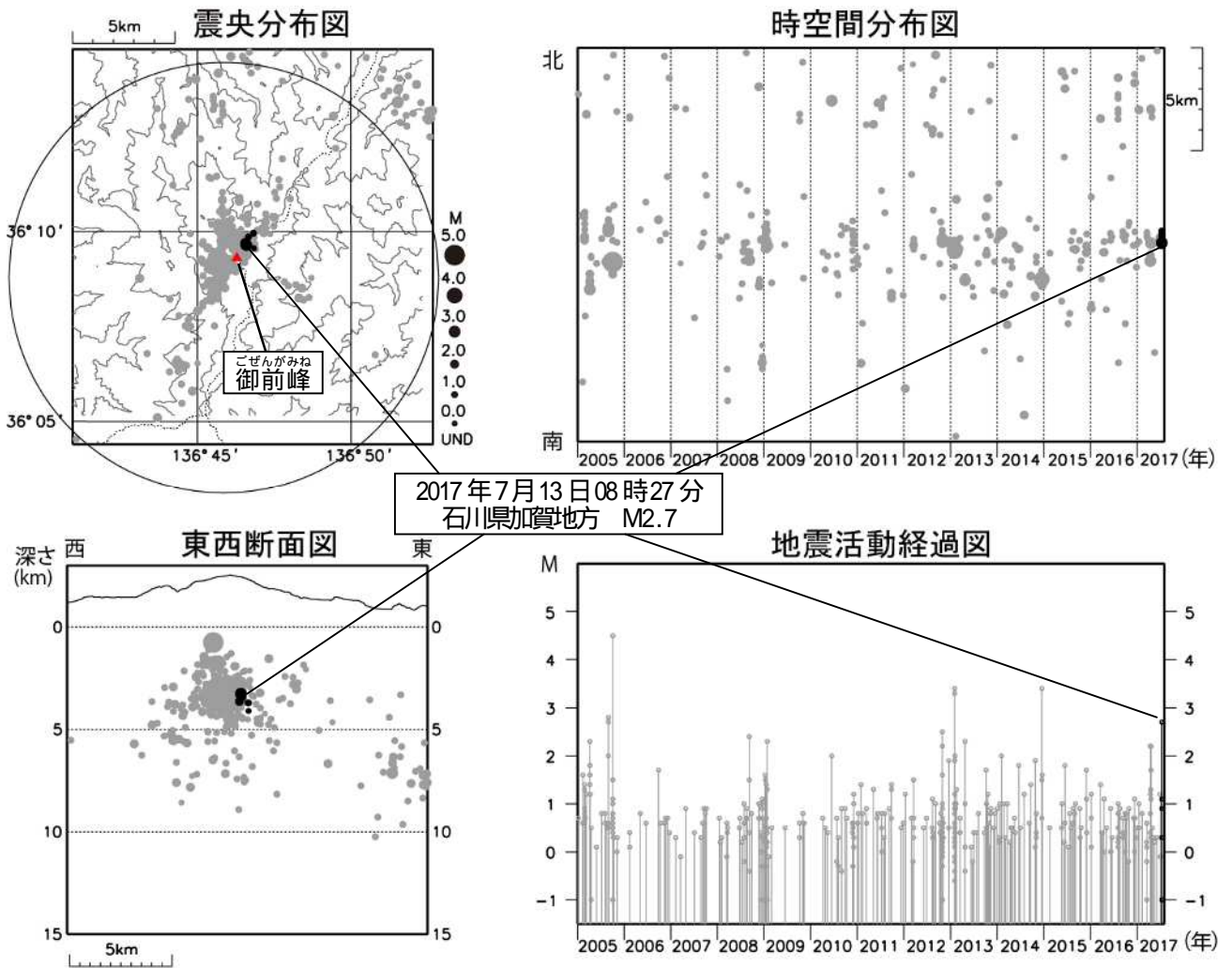


図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2005年1月1日~2017年7月31日)  
 : 2005年1月1日~2017年6月30日                      : 2017年7月1日~7月31日  
 ・震央分布図中の円は図3の計数対象地震(弥陀ヶ原観測点でS-P時間1.5秒以内)のおよその範囲を示しています。  
 ・広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。  
 ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。  
 ・図中の震源要素の一部は暫定値が含まれており、後日変更することがあります。